

答 申 書

(南箕輪村創生総合戦略の検証)

南箕輪村むらづくり委員会

令和6年2月

令和 6 年 2 月 6 日

南箕輪村長 藤城 栄文 様

南箕輪村むらづくり委員会

会 長 足 立 芳 夫

南箕輪村創生総合戦略の検証に係る答申について

令和 3 年 7 月 6 日付け 3 地第 149 号で諮問されました「南箕輪村創生総合戦略の検証」について、以下のとおり答申いたします。

1. 検討の経緯と結果

令和 5 年 9 月 12 日から 4 回にわたりむらづくり委員会を開催し、「第 2 期南箕輪村創生総合戦略」の検証を実施いたしました。検証の結果については、別添資料のとおりです。

地方創生交付金活用事業 KPI 検証結果

事業名		評価 KPI 達成
地方創生推進交付金 (補助率 1/2)	"南箕輪の「輪」拡大プロジェクト ～人・モノの好循環を目指して～"	①総合戦略の KPI 達成に有効であった
地方創生拠点整備交付金 (補助率 1/2)	生涯活躍いきいき交流拠点整備計画	①総合戦略の KPI 達成に有効であった
	観光とお試し移住拠点整備計画	①総合戦略の KPI 達成に有効であった
	南箕輪の新商品開発拠点整備計画	①総合戦略の KPI 達成に有効であった

南箕輪村創生総合戦略の検証結果

基本目標	施策・数値目標項目に対する検証判断結果 (28 項目)		基本目標に対する検証判断結果
(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり 【6 項目】	順調	2 項目	おおむね順調
	おおむね順調	2 項目	
	努力を要する	1 項目	
	改善・対策を要する	1 項目	
(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり 【8 項目】	順調	4 項目	おおむね順調
	おおむね順調	3 項目	
	努力を要する	1 項目	
	改善・対策を要する	0 項目	
(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり 【9 項目】	順調	5 項目	順 調
	おおむね順調	2 項目	
	努力を要する	2 項目	
	改善・対策を要する	0 項目	
(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり 【5 項目】	順調	2 項目	おおむね順調
	おおむね順調	2 項目	
	努力を要する	1 項目	
	改善・対策を要する	0 項目	

施策・数値目標項目に対する検証判断結果 28 項目のうち、「努力を要する」又は「改善・対策を要する」とした数値目標項目は以下のとおりです。

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	企業振興補助金交付事業所数
改善・対策を要する	就労情報へのアクセス数

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	持ち家世帯の区加入率

(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	登下校見守りボランティア登録者数

(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

判断結果	数値目標項目名
努力を要する	防災に関する出前講座開催数

なお、以下のとおり委員会の意見を付しますので、第２期南箕輪村創生総合戦略を進めるにあたり配慮していただくようお願いいたします。

付帯意見

（１）立地特性を生かした職住近接のむらづくり

【施策① 企業振興補助金交付事業者数】

新型コロナウイルスによる経済不況や物価高騰等のため、企業が固定資産等の取得を抑制したことが達成値に至らなかったことを踏まえて、ウイズコロナを目指して村企業と連携し、企業振興に繋がる取組みしていただきたい。

【施策③ 移住者や女性の就業支援】

就活事業の主体が上伊那広域連合となり、村の就活サイトを廃止したため、大幅にアクセス数が減少したが、今後とも村の企業や商工会とも連携し、上伊那広域連合（上伊那全体）で就活プロジェクトなどの充実に向け、積極的な連携を図られたい。特に、移住情報は、空き家情報、就労情報が関連することが多いため、相互に誘導できるよう取り図られたい。

（２）若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

【施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進】

まず住民の満足度が上がることが第一であり、それこそが移住・定住・若者の回帰につながっていくものと思われる。また、移住については、魅力ある提案・メニューを用意し、粘り強く発信を続けられたい。

持ち家世帯の区加入については、主に転入者への取り組みを行っているが、地域には元々未加入の方がいる上に、高齢で区から脱退する方も増えており、現状では目標値到達は困難と推測される。

新たな自治会のあり方について、村民と情報共有をしながら、継続的な組織に向けて計画的に進められたい。

【施策③ 南箕輪の魅力開発とブランドづくり】

子どもたち同士が、様々なイベントに参加しており、子どもたちだけで楽しめる場は、子どもたちの成長や貴重な体験となり、大変ありがたいと感じている。

地域おこし協力隊が主催しているイベントも充実してきており、連携や継続な仕組みを検討されたい。

(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり

【施策① 妊娠出産・子育て支援の充実】

保育園のノーテレビ・ノーメディアの促進は、ゲームなどの危険性がきちんと伝わっていないため、形骸化しているように感じる。子どもがその意味やその影響などの知識がさらに深めるよう、伝え方の工夫やノー・テレビ、ノー・メディアの必要性を保育園や小中学校との連携しながら、促進を図られたい。

【施策② 教育の充実】

わくわくクラブにおいては、以前から参加が少ないという課題があるが、入会したくても、情報が少なくクラブがわからない状況とを感じる。日々の活動をはじめ、会員や指導者などの人が、目に見える形にすることによって、地域にとって、身近なクラブであるという存在を高めてほしい。会員の減少は、今後のクラブ運営に影響する問題であるため、会員確保や人材確保に注力されたい。

(4) 誰もが安心して暮らし続けられるむらづくり

【施策① 自然災害に強い地域づくり】

災害はコロナ禍にかかわらず発生のある恐れがあるため、学校、地域と連携しながら、訓練や学習の機会を積極的に設けられたい。専門性の高い防災士との連携やPRなどの充実をさらに図られたい。

村の公共インフラ老朽化がすすんでおり、「南箕輪村公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」「南箕輪村公共施設個別施設計画（令和3年3月）」に策定され、計画に沿った改修や更新などがすすめているが、いつ起こるかわからない大規模災害等を見据え、住民ニーズを適切に把握しながら、施設の検証、スリム化をさらにすすめられたい。

(全 般)

第2期南箕輪村創生総合戦略の基準値、達成値、目標値の設定や進捗率（進捗状況の判定）を評価検証するのにあたり、多くの委員から目標設定と評価する基準に“ずれ”を感じているという意見が多かった。

日本では、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society5.0）を目指しています。その理由は、国際社会においても日本は「課題先進国」と言われるほど深刻な社会課題を持つ国であり、その課題を解決するためのイノベーションが必要不可欠だからと言われる。

直面した社会課題としては、環境・エネルギー問題、高度経済成長期に整備されたさまざまなインフラの老朽化、災害への備え、公共交通機関の区間廃止等の移動の問題など、さまざまな課題を抱えている状況は、村も同様な課題を抱えている。

Society5.0 社会は始まっており、ICT の先端技術が搭載されたスマートハウス、スマート家電の出現等によって、そして日常生活に関連するありとあらゆるものがスマートフォンで制御できるようになってきている。

しかし、スマートフォンを持っていても、情報検索、動画再生、電話、メールなどの限られた機能しか使っていない人が多いのが現状であり、近い将来に訪れる 65 歳以上の高齢者が 3 割を占めると言われる日本において、Society5.0 社会が機能するには、高齢者の方が積極的、戦略的に情報端末を使いこなせるサポートを地域単位で考えていくことが必要と感じる。

また、Society 5.0 のような新たな社会において地方公共団体に求められる役割とは、地域経済の発展にとどまらず、「情報」を核にして、これまで以上に住民や地元企業と密着・連携しつつ、地域の多様な社会的課題と一緒に解決していくことが重要である。

社会のあらゆる分野において高度なサービスを提供できるようになる一方で、デジタル情報技術を活用することで、「情報」にあふれた現代では、必要な人に必要な情報が届きにくい情報格差が生じることが懸念される。

特に高齢者や IT に疎い人々にとって、情報にアクセスすることや情報整理が難しい状況が生じる可能性があるため、マーケティングなどによって、これらの課題に対処するためには、技術的な側面だけでなく、社会的・倫理的な側面も含めて、広く議論を進めていく必要がある。

総合戦略から探る令和時代の地方創生に必要なことは何か、第6次南箕輪村総合計画・第3期南箕輪村創生戦略の策定にあたっては、地域、住民の意識調査を踏まえ、AI やロボットなどの革新的な技術と人々のくらしが融合できるよう、社会のイノベーション（変革）によって、世代を超えて互いに尊重し合い、一人ひとりが快適で活躍でき、希望の持てる社会（南箕輪村）をめざすことが求められる。

南箕輪村創生総合戦略の検証におけるむらづくり委員会開催の経過
(令和5年度)

開催日		内 容
第2回	令和5年9月12日	○南箕輪村創生総合戦略（交付金事業）の検証について
第3回	令和5年10月31日	○南箕輪村創生総合戦略の検証の進め方について ○南箕輪村創生総合戦略の検証①について
第4回	令和5年11月14日	○南箕輪村創生総合戦略の検証②について
第5回	令和5年12月5日	○南箕輪村創生総合戦略の検証（まとめ）について

むらづくり委員名簿（第6期）

会 長	足立 芳夫	北原区推薦
会長職務代理者	入倉 眞佐子	村長指名
委 員	山岡 勉	久保区推薦
委 員	長谷川 義隆	中込区推薦
委 員	加藤 直樹	塩ノ井区推薦
委 員	高木 武	北殿区推薦
委 員	唐木 茂人	南殿区推薦
委 員	酒井 きよみ	田畑区推薦
委 員	清水 真知子	神子柴区推薦
委 員	伊久間 美昭	沢尻区推薦
委 員	伊澤 武善	南原区推薦
委 員	北原 泰司	大芝区推薦
委 員	清水 克俊	大泉区推薦
委 員	田口 和弘	村長指名
委 員	小椋 信子	村長指名
委 員	菅家 美果	村長指名
委 員	唐澤 成江	村長指名
委 員	平野 幸代	村長指名
委 員	千 菊夫	村長指名
委 員	富岡 順子	村長指名
委 員	橋場 麻衣子	村長指名
専門委員	松田 聖一	公 募
専門委員	宮坂 大樹	公 募
専門委員	吉澤 孝	アルプス中央信用金庫信大前支店長
専門委員	井口 千鶴	上伊那農業協同組合南箕輪支所長
専門委員	稲生 正徳	日本郵便南箕輪郵便局長
専門委員	石坂 祐三	連合上伊那地域協議会
専門委員	吉川 つづり	伊那ケーブルテレビジョン
専門委員	三澤 聡	土地家屋調査士

敬称略